

Microsoft 365 への文書データ移行の問題 AvePoint ソリューション FLY なら解決できます。

保有する文書データを Microsoft 365 へ移行したい。
しかしデータ移行を検討すると、さまざまな問題が生じます。たとえば…

<p>Case 1</p> <p>データの種類が多くて移行方法がわからない…</p>	<p>Case 2</p> <p>データ量や、そのデータがそのまま移行できるかの確認が大変…</p>	<p>Case 3</p> <p>移行対象データを絞り込みたいが、調整方法がわからない…</p>	<p>Case 4</p> <p>移行に時間がかかると日々の業務に影響が出るし、移行中の監視も大変…</p>
--	--	--	--

これらの問題をすべて解決できるのが AvePoint ソリューション FLY です。

Case	課題	FLY 利用
1	データの種類	10種類以上のデータ種別を一括移行* オンプレミスから、クラウド間、テナント間も
2	保有データ量と移行可否の確認	診断ツールでデータを一括確認 (自治体向けクラウドシフト診断サービス)
3	移行データの整理	データへの最終アクセス日や拡張子の確認が可能 フィルタリングして移行対象データを選別
4	移行スケジュール	任意のスケジュール設定での自動移行が可能 進行状況レポートと通知機能で監視負担軽減

<p>* 対応可能な 移行元データ</p>	<p>データ保管ツール</p>	<p>コミュニケーションツール</p>	<p>メールツール</p>
	<p> SharePoint Dropbox ファイルサーバー Google Drive BOX OneDrive </p>	<p> Teams Slack </p>	<p> Exchange Gmail POP3・IMAP・PST </p>

大変な移行作業を簡単に3STEPで実現します。



STEP 1 分析

移行プランの質向上

「自治体向けクラウドシフト診断サービス」で保有データを分析し、移行時のトラブルを未然に防止



STEP 2 移行

スムーズでシンプルなデータ移行

FLYの簡単な操作で、移行したいデータだけを任意のスケジュールでスピーディーに移行



STEP 3 モニタリング

移行進行状況の把握

ステータスのレポート化と担当者への自動通知機能で、問題発生時にすぐに把握可能

自治体向けクラウドシフト診断サービス

保有データを分析することでスムーズな移行作業につながります。



【データ分析】

- 保有データの現在状況をビジュアルで把握
 - ファイル数/容量、ファイルタイプ別・最終更新日別の分析
- 移行作業でトラブルとなる潜在リスクを事前に洗い出し
 - ファイル文字数オーバー・禁則文字 など



【移行シミュレーション】

- 条件を自由に指定し移行スケジュールをシミュレート
 - 移行総量、移行開始日時、想定転送速度 など
- 移行PJの制約を見る化し、意思決定を支援
 - 移行対象範囲、移行期間、移行コストなどの優先付け

デジタル共生社会を目指すデジタル変革、Microsoft 365 × AvePointがお手伝いします。